

令和4年度 第1回弘前市廃棄物減量等推進審議会会議要旨

- 日 時 令和4年7月21日（木）13時30分～15時00分
- 場 所 弘前市役所 市民防災館3階 防災会議室
- 出席者 樋口会長、阿保委員、安東委員、飯田委員、石塚委員、
太田委員、小田桐委員、加藤委員、佐藤（康）委員、佐藤（八）委員、
西村委員、三橋委員
- 欠席者 石田委員、佐々木委員
（委員14名のうち12名出席）
- 事務局 岩崎市民生活部長、菊池環境課長、
田沢町田事業所長、山内環境課長補佐
長内主幹兼資源循環係長、成田廃棄物政策係長、
安田廃棄物政策係主査、三上廃棄物政策係主事、齊藤廃棄物政策係主事

○内 容

1 開 会（進行：山内環境課長補佐）

2 部長挨拶

3 会 議（進行：樋口会長）

（1）【案件1】令和3年度第3回会議（書面会議）の結果報告

⇒【資料1】について事務局から説明を行った。

質問・意見等

なし

（2）【案件2】ごみの排出状況について

⇒【資料2】について事務局から説明を行った。

質問・意見等

- ・ごみ減量やリサイクルに取り組んだ成果について、市民がもっと取り組もうと
いうような、モチベーションが上がるような情報発信の仕方を工夫して欲しい。
→なごみ生活やごみ収集アプリのお知らせ機能などを使って、頻度を多く、多く
の方に伝わりやすい周知に努めていく。

（3）【案件3】ペットボトルの排出方法について

⇒【資料3】について事務局から説明を行った。

質問・意見等

- ・令和5年4月からと言わず、もっとスピードアップして先行してやれないのか。
→全市民への統一したルール変更としては、令和5年度の「家庭の分け方・出し方」の発行のタイミングになる。9月以降に広報ひろさきなどで周知していくので、できる方にはすぐに取り組んでもらえるような周知をしていく。

- (4)【案件4】組成分析調査と組み合わせた「キエーロ」活用モデル事業について
⇒【資料4】について事務局から説明を行った。

質問・意見等

- ・キエーロの土は有効利用できないのか。
→生ごみの処理には有用だが、入れる生ごみによって組成にバラつきが出るため、成分を均一にする作業が必要になり、肥料としては使いづらい。
- ・色々なモデル事業をやって、その効果を市民にPRできればごみ減量が大いに進むのではないかと思うので、キエーロに限らず、今後も色々なモデルを作っていただきたい。

4 課長挨拶

5 閉会（進行：山内環境課長補佐）

○資料

- ・【資料1】令和3年度第3回弘前市廃棄物減量等推進審議会会議録
- ・【資料2】ごみの排出状況について
- ・【資料3】ペットボトルの排出方法について
- ・【資料4】組成分析調査と組み合わせた「キエーロ」活用モデル事業

○公開・非公開の区分 「公開」